



ネットオークションで NPOの資金調達

オークションの運営を任されたオークションコーズのエリック・ゲイズン社長(写真右)



今年4月、老舗オンラインオークションサイト「eBay（イーベイ）」で、「ファーストアップルオークション」が行われた。目玉のアップル初代コンピュータ「Apple-1」の最終落札額は23万6千ドル（約2800万円）。売上の一部は、「ALS（筋萎縮性側索硬化症）」の啓発活動や研究費用に寄付されるという。

このオークションを手掛けたのは、米ロサンゼルスでオンラインチャリティーオークションのマーケティングを行うオークションコーズだ。売り手は、作家のボブ・ルーサー氏。今回イーベイを通じて、Apple-1やほかのアップルのコレクターズアイテムを出品することにしたのは、友人が苦しむALSの研究費に売上の一部（10%）を寄付するためだという。

ルーサー氏は、「今回エリック・ゲイズンが率いるオークションコーズに、ネットオークション全てを任せることにしたのは、何よりも取り扱うものが貴重で、高額なものだったからだ」と言う。

「実際に商品を手に入れようとする真剣な入札者を選別し、オークションそのものの質を保つことは素人には難しい。関連商品を合わせると、今回のオークションは200点に及び、オークションの状況を逐一確認したり、商品を米国内や海外へ発送するためには、プロの手が必要だと感じた」

と続ける。

NPOの認知度向上にも

オークションコーズは、このアップルオークションに限らず、これまで「eBayオークションのエキスパート」として、多くのセレブリティや財団のチャリティーオークションのプロモーションにかかわってきた。

生まれも育ちもロサンゼルスというオークションコーズの創業者ゲイズン氏のネットワークを最大限に生かし、ハリウッドでも大手のブックンgeeエンターテインメントと組み、有名セレブたちの協力を得て、様々なNPOの認知度アップや資金集めに携わってきた。

5月には、米女性誌「エル・マガジン」の女性ミュージシャンサポートプログラムの一環として、「エル・ウーマン・イン・ミュージック」を手がけ、アラニス・モリセットをはじめ、有

名女性ミュージシャンのサイン入りギターやヘッドフォンなどをオークションに出品した。その収益は全て、若手音楽家をサポートする「グラミーファンデーション」に寄付された。

数千万がクリック一つでやりとりされるネットオークション。失敗と成功は紙一重で、プロの手腕の見せ所でもある。国を超えて商品やサービスがやり取りできる分、繊細なコミュニケーションが求められる世界で、オークションコーズは秀でたサービスを提供する数少ない専門機関だといえよう。

（寺町 幸枝）



ネットオークションに出品されたアップルのコレクターズアイテム